

令和6年度野菜花き課題別研究会 開催概要

1. 課題名

アブラナ科野菜の育種・生産を取り巻く現状と展望

2. 趣旨

野菜に対するニーズは多様化・高度化する一方で、野菜の生産を取り巻く情勢は厳しく、生産の維持・拡大を図るには優れた品種・魅力ある品種の開発や栽培技術の開発が必要である。そこで、本課題別研究会では、アブラナ科野菜について育種と栽培の現状の問題点を整理し、今後の研究および技術開発の推進方向を明らかにする。

3. 主催

農研機構 野菜花き研究部門、一般社団法人日本種苗協会(共催)

4. 開催日時

令和6年10月22日(火)13:00～23日(水)12:10

5. 開催場所

津リージョンプラザ お城ホール(三重県津市西丸之内23-1) ※近鉄津新町駅から徒歩10分

(注)新型コロナウイルスの感染拡大状況によってはオンライン開催へ変更となる場合もあります。その場合は、申込時に登録頂くメールアドレス宛、あらためまして、参加の可否等にかかる確認メールを配信させていただきます。

6. 事務局

(研究会全般について)

野菜花き研究部門 野菜花き品種育成研究領域 露地野菜花き育種グループ

吹野伸子

電話：050-3533-4607 E-mail：kadaibetsu@ml.affrc.go.jp

(研究会参加申込みについて)

野菜花き研究部門 研究推進部 研究推進室 安濃企画連携チーム

濱田 満

電話：050-3533-4601 E-mail：kadaibetsu@ml.affrc.go.jp

(裏面につづく)

第1日目(10月22日(火) 13:00~17:20)

- 1) 13:00~13:10 開会挨拶および事務連絡
 - 2) 13:10~13:40 国内アブラナ科在来品種の紹介と現状
山形大学 江頭 宏昌
 - 3) 13:40~14:10 アブラナ科作物における細胞質雄性不稔
京都産業大学名誉教授 山岸 博
 - 4) 14:10~14:40 アブラナ科作物のゲノム編集について
玉川大学 肥塚 信也
 - 5) 14:40~15:10 アブラナ科野菜の品種開発・商品化における現場の実務課題
(株)日本農林社 林田 航資
- (休憩 15:10~15:25)
- 6) 15:25~15:55 アブラナ科植物の自家不和合性程度に関する分子機構解析
東北大学 山本 雅也
 - 7) 15:55~16:25 ダイコンへの接ぎ木によるアブラナ科作物の早期開花誘導技術「GRAFT 法」の
開発
岡山大学 元木 航
 - 8) 16:25~16:55 採種視点から見たミツバチの行動学
玉川大学名誉教授 中村 純
 - 9) 16:55~17:15 総合討論
 - 10) 17:15~17:20 事務連絡

第2日目(10月23日(水) 9:00~12:00)

- 1) 9:00~9:30 加工・業務用ブロッコリーをめぐる情勢
農研機構 野菜花き研究部門 高橋 徳
 - 2) 9:30~10:00 冬どり加工・業務用ブロッコリー栽培の研究成果と兵庫県淡路島での取組事例
紹介
兵庫県立農林水産技術総合センター淡路農業技術センター 中野 伸一
 - 3) 10:00~10:30 国産ブロッコリー 加工業務用需要の取り組みについて
横浜丸中グループ 横浜市場センター(株) 豊島 広之
- (休憩 10:30~10:40)
- 4) 10:40~11:10 農研機構における根こぶ病抵抗性育種
農研機構 野菜花き研究部門 川崎 光代
 - 5) 11:10~11:40 DNA マーカー選抜による複合病害抵抗性育種
神戸大学 藤本 龍
 - 6) 11:40~12:05 総合討論
 - 7) 12:05~12:10 閉会挨拶および事務連絡

(注) 講演課題名等は変更される場合がございます。